

お知らせ

『第11回神奈川県安全性向上委員会』が開催されました (新たな事故危険区間として132区間が追加されました) ～事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)～

「神奈川県安全性向上委員会」は、平成22年度に事故危険区間重点解消作戦『事故ゼロプラン』を立ち上げ、交通安全課題箇所である事故危険区間の選定や対策効果の検証など、総合的な検討を実施してきたところです。

第11回「神奈川県安全性向上委員会」を平成25年12月18日に開催し、現在の対策状況と対策効果を報告するとともに、現在の事故危険区間717区間に、新たに132区間を追加しましたので、お知らせします。

【開催結果】

○事故危険区間の対策状況と対策効果

- ・昨年度までに選定された事故危険区間717区間のうち、約42%の304区間で事故対策に着手。
- ・H20～23年の事故件数は、県内幹線道路全体で約13%減少、対策後の事故危険区間で約30%減少。(H17～20年の事故件数との比較)

○事故危険区間の追加

- ・最新の事故データ等を踏まえ、新たな事故危険区間として132区間を追加しました。
- ・事故危険区間のうち、過去に位置づけられ、現在まだ対策に着手できていない279区間のうち、近年の事故発生状況の変化を踏まえ、事故件数等が減少している175区間を経過観察扱い(対策実施保留)としました。

※今回の委員会資料やこれまでの委員会資料については、横浜国道事務所ホームページで確認できます。

神奈川県安全性向上プロジェクト

<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/06data/plan/safety/index.htm>

『第11回神奈川県安全性向上委員会』

議事概要

■開催日時

平成25年12月18日(水) 10:00~12:00

■開催場所

横浜国道事務所大会議室

■委員会名簿

◎東洋大学 国際地域学部 国際地域学科 教授(委員長)
(社)神奈川県安全運転管理者会連合会 専務理事
(財)横浜市交通安全協会 専務理事
(社)川崎市交通安全協会 専務理事
(社)神奈川県トラック協会 専務理事
(社)神奈川県タクシー協会 専務理事
(社)神奈川県バス協会 常務理事
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長
国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長
神奈川県警察本部交通部 交通規制課長
神奈川県安全防災局安全防災部 暮らし安全交通課長
神奈川県県土整備局道路部 道路管理課長
横浜市道路局 道路部長
川崎市建設緑政局 道路河川整備部長
相模原市都市建設局 土木部長
東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所長
中日本高速道路株式会社 東京支社 保全・サービス事業部
道路管制センター 交通管制チームリーダー
首都高速道路株式会社 神奈川管理局
調査・環境課長

■議事

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) 委員会目的と経緯 | (2) 事故ゼロプランの進捗状況 |
| (3) 対策完了箇所フォローアップ | (4) 事故危険区間リストの更新 |
| (5) 事故ゼロプランの今後の展開 | (6) 自転車空間整備の取組み |



委員会の状況



委員長による議事進行状況

神奈川県内 新たな事故危険区間『132区間』

①事故多発区間(地点):23区間

事故が急増した区間や重大事故発生区間などを対象に、神奈川県交通安全対策協議会で選定した区間

管理者	No	路線	住所	箇所名
横浜国道	1	国道357号	横浜市磯子区新杉田町8	聖天川西側交差点
	2	国道16号	横浜市金沢区六浦1-1-17	六浦交差点
	3	国道16号	横浜市保土ヶ谷区峰岡1-14-1	峯小学校入口交差点
	4	国道16号	横須賀市追浜本町1-1	横浜銀行前
	5	国道1号(西湘バイパス)	中郡大磯町大磯1314	大磯港ICから基点まで
相武国道	6	国道20号	相模原市緑区与瀬1581-5~2009	住宅前バス停から奥の沢橋まで
	7	国道20号	相模原市緑区与瀬679	守屋自動車
神奈川県	8	県道横須賀三崎	横須賀市上町1-12から 同市若松町2-30までの間	上町1丁目交番前~市立児童図書館前まで
	9	国道134号	三浦市初声町和田2645-7	三友自動車前
	10	国道134号	三浦市南下浦町上宮田3434	マホロパマインズ前
	11	県道鎌倉葉山	逗子市久木4-13-12	小坪入口
	12	県道下糟屋平塚	伊勢原市上谷257	西川橋交差点
	13	県道相模原大磯	愛川町角田844	八木方前交差点
	14	県道座間大和	大和市下鶴間1785-10	中央林間東側交差点
横浜市	15	県道横浜鎌倉	横浜市港南区日野1~5	日野立体交差点~日野公園墓地入口交差点
	16	県道横浜生田	横浜市青葉区あざみ野4-36-1	新橋交差点
	17	県道大船停車場矢部	横浜市栄区笠間3-14-39	農林水産省戸塚寮北西側交差点
	18	県道丸子中山茅ヶ崎	横浜市瀬谷区下瀬谷2-25-17	下瀬谷入口交差点
川崎市	19	県道東京大師横浜	川崎市川崎区出来野11-16	出来野交差点
	20	国道409号	川崎市中原区市ノ坪131	市ノ坪交差点
	21	県道丸子中山茅ヶ崎線	川崎市高津区千年 先交差点	岩川バス停交差点
	22	県道上麻生連光寺	川崎市麻生区片平4-3	仲町橋
相模原市	23	県道相武台相模原	相模原市南区相模台5-8-20	相武台団地北側交差点

②安全性の危惧:5区間

管理者	No	路線	住所	箇所名
横浜国道	24	国道246号	大和市上草柳	大和市上草柳
	25	国道246号	厚木市金田	金田交差点
	26	国道246号	厚木市温水	温水沖田交差点
	27	国道246号	厚木市愛甲	坊中交差点
	28	国道246号	山北町宮地	宮地交差点

③事故危険箇所:104区間*

事故危険箇所については、国土交通省ホームページにて確認できます。

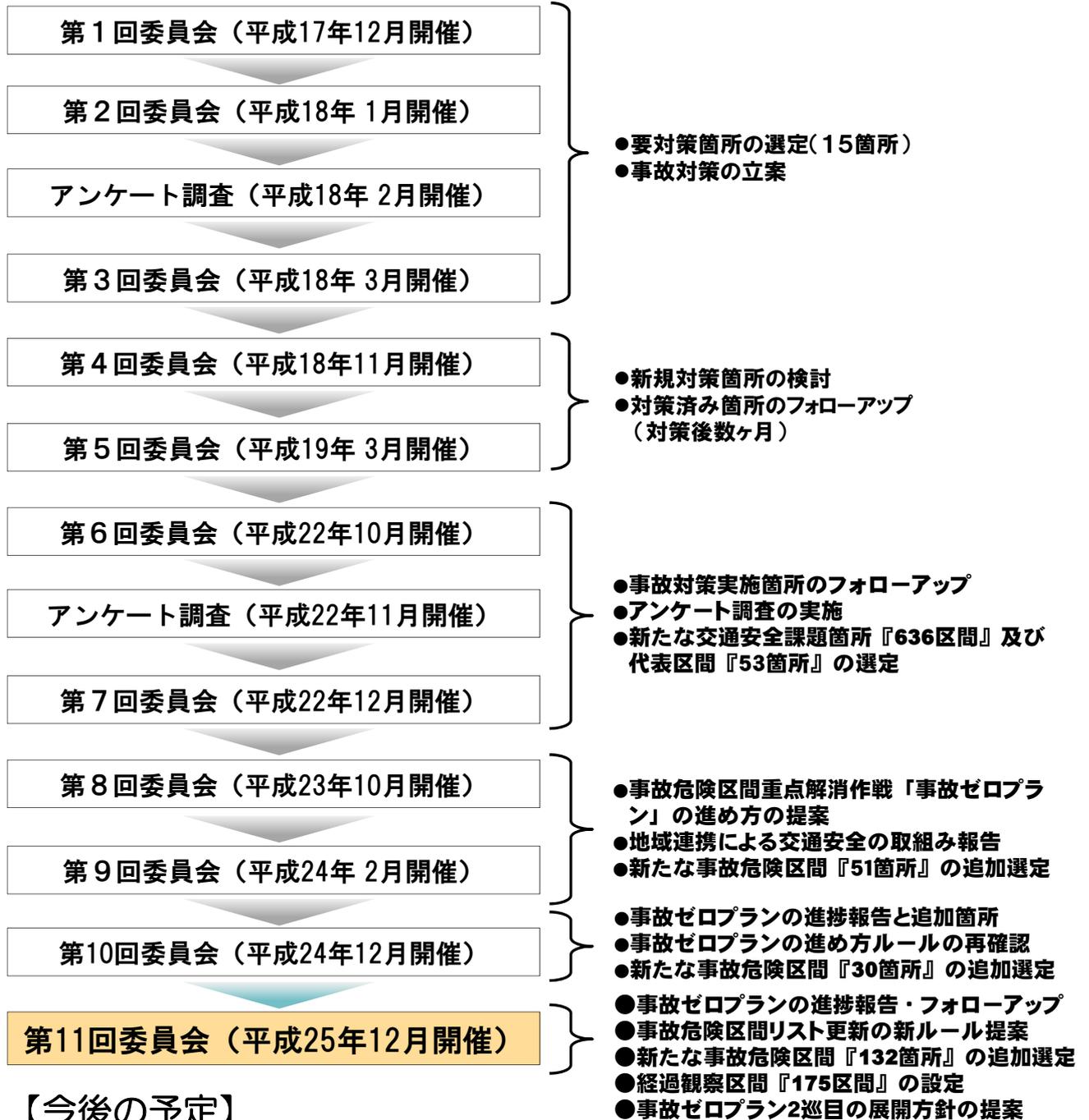
URL : <http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/torikumi.html#2-1-1>

※神奈川県内の事故危険箇所151区間のうち、既往リストと重複する47区間は除きます

『神奈川県安全性向上委員会』について

【これまでの取り組み】

『神奈川県安全性向上委員会』は、交通事故対策について、様々な分野の方々からの意見をお伺いし、「要事故対策箇所の選定」「事故対策の立案」「対策結果の確認（フォローアップ）」について検討することを目的に、平成17年12月に設置しているところです。



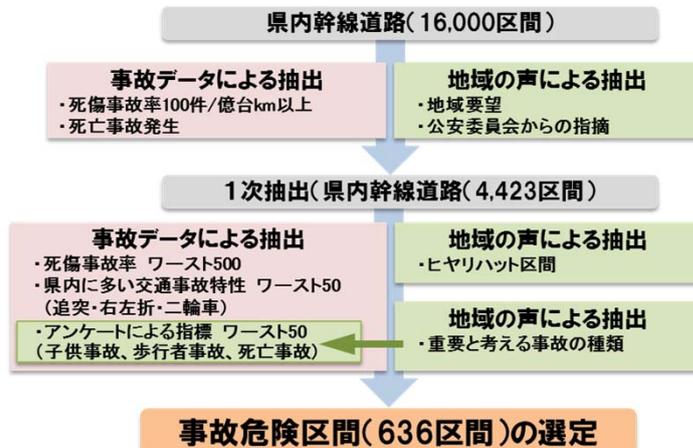
【今後の予定】

第12回委員会
事故ゼロプランの進捗状況・フォローアップ、事故危険区間リストの追加、事故ゼロプラン2巡目の事故危険区間選定手法（平成26年12月ごろ予定）

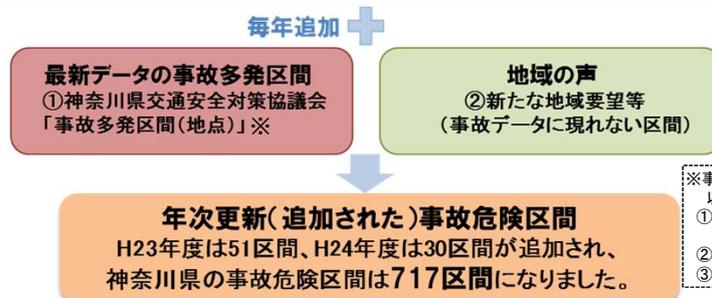
【事故危険区間の選定について】

- ・神奈川県内の幹線道路を対象に、「事故データ」および「地域の声(アンケート結果)」より、事故危険区間(636区間)を選定。(H22年 第7回委員会)
- ・H23年度は51区間、H24年度は30区間を追加選定(事故危険区間(717区間))。

H22

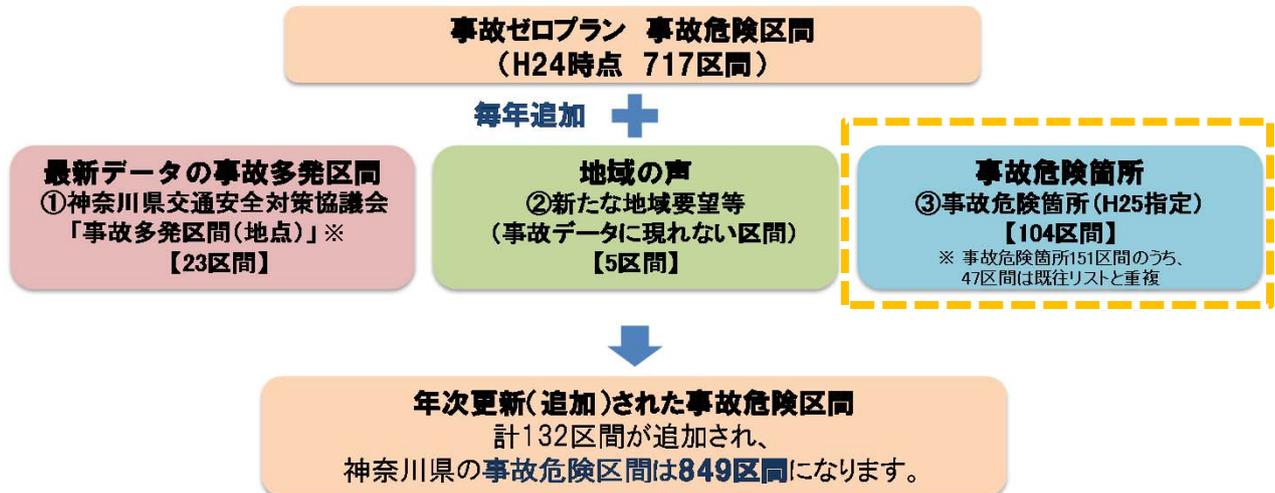


H23,24



※事故多発区間(地点)とは最新の事故データ等をもとに、以下の観点で選定されたものです。
①死亡事故など社会的反響の大きな交通事故の発生箇所
②交通事故が発生し、今後も多発する危険性がある箇所
③①②のほか、特に対策を講じる必要がある箇所

今回、新たに132区間を追加



📦 今回より新たに追加

<事故危険箇所>

- ◆平成19年～平成22年における平均的な交通事故発生状況について以下の条件を全て満たす箇所。
 - ・死傷事故率が100件/億台キロ以上
 - ・重大事故率が10件/億台キロ以上
 - ・死亡事故率が1件/億台キロ以上
- ◆地域の課題や特徴を踏まえ、特に緊急的、集中的な対策が必要な箇所。